

使用説明書

使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。



動物用医薬品

“京都微研”IBD生ワクチン

鶏伝染性ファブリキウス囊病生ワクチン (ひな用) (シード)

製法及び性状

本剤は、鶏胚初代細胞で増殖させた弱毒鶏伝染性ファブリキウス囊病ウイルスTaishu KB株を凍結乾燥した生ワクチンである。

乾燥ワクチンは、帯黄灰褐色の乾燥物で、精製水を加えて振り混ぜると容易に溶解し、淡黄淡褐色の均質な懸濁液となる。

成分及び分量

乾燥ワクチン 1バイアル (1,000羽分) 中

鶏胚初代細胞培養弱毒鶏伝染性ファブリキウス囊病ウイルス Taishu KB株 (シード)	10 ^{7.0}	TCID ₅₀ 以上
ラクトース-水和物	30	mg
グリシン	30	mg
カゼイン製ペプトン	20	mg
ポリビニルピロリドンK-90	4.5	mg
ベンジルベンチリンカルウム	200	単位
硫酸ストレプトマイシン	0.2	mg (力価)
硫酸カナマイシン	0.02	mg (力価)

効能又は効果

鶏伝染性ファブリキウス囊病の予防

用法及び用量

70日齢以下の鶏に、小分製品を日齢に応じた量の飲用水に溶解し飲水投与する。

使用上の注意

【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
- (4) 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

【使用者に対する注意】

本ワクチン成分の特徴

抗原		アジュバント		
微生物名	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
鶏伝染性ファブリキウス囊病ウイルス	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 微生物化学研究所 営業部
〒611-0041 京都府宇治市横島町24、16番地
TEL: 0774-22-4519
FAX: 0774-22-4568

- (1) 事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等を着用すること。
- (2) 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

【鶏に対する注意】

1 制限事項

- (1) 鶏が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・元氣消失、食欲不振、発熱、異常呼吸音、下痢等臨床異常が認められるもの。
 - ・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。
 - ・明らかな栄養障害があるもの。
 - ・他の薬剤の投与、導入又は移動後間がないもの。
- (2) 本剤投与後、飼養管理に十分注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。
- (3) ワクチンウイルスの他鶏群への拡散を防止するため、免疫群は隔離すること。

2 副反応

- (1) 副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

3 相互作用

- (1) 本剤には他の薬剤 (ワクチン) を加えて使用しないこと。
- (2) 本剤投与前後24時間は、消毒剤や他の薬剤の使用を避けること。

4 適用上の注意

- (1) 移行抗体価の高い個体では、ワクチン効果が抑制されることがあるので幼若なひなへの投与は移行抗体が消失する時期を考慮すること。
- (2) 投与に用いる器具は、消毒剤を含まないきれいな水で洗浄すること。
- (3) 飲水用の水は、井戸水、清水等を使用すること。水道水を用いる場合は、煮沸後冷却したもの、汲み置きしたもの、チオ硫酸ナトリウム (ハイポ) を0.01~0.02w/v%の割合、あるいはスキムミルクを0.25%の割合で添加したものを使用すること。

- (4) 本剤をすべての鶏に均一に投与するために、以下の点に留意すること。
- ・飲水器は鶏の数に見合った数を用意すること。
 - ・本剤投与前2、3時間は断水すること。
 - ・2、3時間で飲み終えるように調整すること。
 - ・本剤をすべて飲み終えたことを確認してから、通常の飲水に戻すこと。

【取扱い上の注意】

- (1) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- (2) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- (3) 溶解は使用直前に行うこと。
- (4) 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- (5) 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
- (6) 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- (7) 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂をするおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
- (8) 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので、避けること。

貯法及び有効期間

- 1 遮光して、10℃以下に保存すること。
- 2 有効期間は製造後3年3か月間（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）

包装

- 1セット 1,000羽分
5,000羽分

【製造者及び販売者】

製造者：株式会社 微生物化学研究所
販売者：株式会社 微生物化学研究所

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

製造販売元



株式会社 微生物化学研究所
京都市宇治市横島町24、16番地

2705400B
BDLV®